



ライオン学校伝書鳩通信

～子ども達の夏休み～

ほんとに宿題終わる??

この夏最後の支援に行って来ました。今回の目的はズバリ、夏休みの宿題のお手伝い！支援に入った8月の24・25・26日は夏休み最後の週末です。分からなかったり難しかったりして残った宿題を一緒に終わらせて、あとは思いっきり遊べたらいいなと考えながら現地入りしました。しかし、この見通しが甘かったことに私たちはすぐに気付かされます……。

初日は午後からの活動でした。徐々に集まるライオン学校の子ども達ひとりひとりに宿題の進捗状況を尋ねます。「俺、もう全部終わってる！」「あと読書感想文書くだけ！」なんだなんだ、お手伝いの必要もないじゃないかと安心してたのも束の間。「全然手え付けてねえ！」まさかと思って見せてもらった宿題ワークは全くの白紙。習字や絵画の宿題も、ましてや自由研究なんて考えてもいないという子まで。私たちの予想をはるかに超えるほどに宿題に手をつけていない子が数人いました。果たして本当にこの子たちの宿題を終わらせることができるのか？なんとも大きな不安のもと今回の支援は幕を開けました。

宿題への挑戦

宿題への取り組みは2日目から本格的に開始。ライオン学校ではいつも時間割を決めて、それをもとに子ども達は活動しているのですが、今回の時間割はライオン学校としては異例のもの、午前と午後大きく「お勉強タイム」が置かれました。とは言っても、宿題が終わってしまっている子も多いので、「お勉強タイム中は部屋の中は勉強する人のためのところ。勉強することがない人は外で遊ぶ。」というルールにして活動することにしました。

宿題が終わっていない子たちの戦いが始まります。一部の子はなかなか席につくことも難しかったのですが、一度始めてしまうとみんな集中モード。時々訪れる飽きの波を乗り越えながら少しずつ宿題を進めていきます。漢字が分からなければ私たちから電子辞書を借り調べ、計算がわからなければ解説をしっかりと聞いて自ら一生懸命に解こうとします。子ども達のこういった様子を見ていると決して勉強が嫌いなのだというわけではなく、少し手助けをしてあげればいくらかでも学習活動ができる子たちなのだと感じます。外から聞こえるみんなの楽しそうな声にも耐えながら一日終わってみると、絶望的だと思われていた宿題完成にもある程度ゴールが見えてきました。数名の子は、解散後もおうちの許可を頂いて、夜遅くまで宿題に挑み続けました。

明るく3日目も机とにらめっこ。ときどき外遊び組と混じって一緒に遊び気分転換をしては宿題へと戻ります。ワークを終わらせ、プリントを終わらせ、絵を描き、習字を書き……、ついに全部終わらせることができました！残念ながら、宿題が終わらなかった子もいたのですが、ほとんどの子が無事にその大仕事を終わらせることが出来ました。提出日が迫っているという状況だったとはいえ、ここまで勉強という一つの物へ集中力をずっと発揮し続けることができるようになったのには子ども達の成長をととても感じさせられます。

子どもたちの変化と支援の引き際

一方、外遊び組の子ども達の様子を見てみてもその成長を感じずにはられません。本当にこの1年と少しを通してどれだけ遊ぶことが上手になったことか。ここ数回の支援で特にそれを感じています。大人の介入がなくても、自分たちだけで遊びを提案し、友だちを集め、決まったルールのもとで試合を行うことができる。私たちは特に口出しすることもなく、その様子を眺めるだけという状況も増えてきました。嬉しいような寂しいような、でもやっぱり喜ばしい子ども達の成長です。



こういった子ども達の様子の変化を見て、そろそろ私たちの支援も少しずつ引いていくべきなのだろうかと感じていました。この大学生支援隊が始まる以前のライオン学校の支援も子ども達の様子を見ながらその頻度を毎週から毎月へとシフトさせ、今年の3月に一旦終了し、長期休みごとの支援へと変わっていきました。もともと夏の合宿までを目標にしていた私たち学生支援隊は、今回の支援前に夏以降の支援について話し合い、今回を区切りに毎月の支援から2ヶ月ごとの支援にしていく方針を固めていました。

しかし今回の支援を終えて、支援隊メンバーの口から出るのは「本当に2ヶ月ごとでいいのだろうか?」という意見。毎月来る度にめまぐるしく成長する子どもたち。その成長に伴って友だち関係の変化やトラブルが生じています。そういった事態に2ヶ月ごとの支援で対応できるのか?また、子どもたちやその家族が今まさに必要としていることを探ること、つまり支援のニーズを探るという点においても、毎月から2ヶ月ごとへの変化は大きく響いていくことが予想されます。子ども達の成長のよい面ばかりを見て、手がかかからなくなってきたからと頻度を落とす方針を決めましたが、これについてはもう少し考えていく必要があります。

・寄付を頂いた方(8月4日～8月31日)敬称略:山本岳洋・平井剛広・土田晃平

! 寄付のお願い!

万石浦への移動がバス+電車となったため、交通費が必要です! 継続的な支援のためにぜひ寄付をお願いします。ご寄付頂きました際には、お手数ですが右記連絡先まで一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

【活動記録】

○8月24日～26日 万石浦ライオン学校支援

□支援隊メンバー:清水睦美(東京理科大学)、甘利悠貴・大林沙紀・山本岳洋・平井剛広・土田晃平・古浦新司(東京理科大学学生)

グループ名:ライオン学校

連絡先:〒270-0101 千葉県流山市東深井 33-4

Ridai 古谷メゾン 201号室

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com